

「乙戸南雑話「花鳥風月及び星・虹を愛でながら」

から

主宰論説 44

2024を振り返って（その2）

激動の 2024 年も、まもなく、終わろうとしています。

劣化・低下した機能の完全回復は、一般的には難しいと言われますが、私自身は、懲りず諦めず、今年も、リハビリテーションに励みました。相変わらずぶり返す腰痛や、なかなか回復しない左手の握力低下に悩まされましたが、他の不具合は、かなり改善しました。まず、血行不良による歩行困難は、ほぼ改善され、二足歩行は、可能になりました。腰痛でしゃがみ込むこともあり、長距離遠出は、まだまだ難しいながらも、短距離だと、杖無しでも大丈夫なようです。ですが、「転ばぬ先の杖」といいますから、散歩の際は、常時、杖を利用しています。また、加齢による業病とされる緑内障も、今のところ、眼圧は、10から11で安定しているので、回復しないまでも、進行は沈静化しており、失明の恐れはなく、まだまだ好きな可視化の研究は、続けられそうです。幸運に感謝したい。生命力や寿命もあり、あと何年続けられるか分かりませんが、知力・体力・学力の回復を図り、2～3やり残した話の実現を図りたいと思います。可視化の話など、自分の好きなことをやり続けると、結果的には、世のため、人のためにも連なると思っています。数独パズル、クロスワード・パズル、偏微分方程式等の応用数学、劣化過程の可視化・映像化などを楽しんでいるので、頭の働きは、まだまだ残っているらしいです。ですが、随分長らくやっているので、インターネットを利用した囲碁、麻雀は、相変わらず、まるでダメなようです。よほど才能がないようです。しかし、最近、少しだけ、実力アップ模様ですので、懲りずに続ける積りです。また、また、新聞・雑誌上だけでなく、新たに、WEBB 上で、数独パズル、クロスワード・パズルなどを楽しんでいます。

今年は、昨年とは別に、かなり焦点を絞った形でしたが、かなり多方面の活動を続けることができたように思われます。

自分のWEB上の建築環境材料研究所 2 のホームページを通じて、花鳥風月及び星・虹を愛でながら、言論の自由と情報発信と啓蒙による世界貢献に努めるかたわら、“多頭流方式”での研究活動を続けることができました。

2 月後半には、オンライン形式でしたが、マテリアルライフ学会の第 28 回春季研究会で、「ポリスチレンの光誘起型リサイクル法」というタイトルでの研究発表を終えることができました。耐候性評価のための機器分析など、他の研究者の興味深い研究発表にも触れ、PowerPointファイル共有上のいささかのトラブルに関わらず、無事に済んだのは、幸いだったと思います。

今年は、学会発表は、遠出は、避け、東京圏内に限定しました。

5 月中旬、早稲田大学の国際会議場で開催された日本材料科学会で、「コンクリート系複合材料における熱・水蒸気同時移動解析の試み」というタイトルでの研究発表を行いました。また、赤坂コンフェレンスセンター Air で開催されたセメント技術大会で、「半球状コンクリートにおける逆ステップ応答解析」というタイトルでの研究発表を無事終えることができました。

7 月のマテリアルライフ学会は、東京工業大学の多目的デジタルホールでの対面方式の開催でした。「ポリビニル系高分子材料の光劣化過程の可視化（その 8）—機械学習によるポリスチレンの光酸化反応の有効反応速度定数の精密推定の試みと光誘起型促進リサイクル法への応用—」という内容で、無事研究発表を終えることができました。また、高分子材料の寿命等に関する多面的視点からの取り組みと最新の研究成果についての貴重な情報を得ることができました。

8 月下旬、明治大学の駿河台キャンパスで開催された日本建築学会 2024 年年次大会では、懲りないようですが、「コンクリートの二酸化炭素による炭酸化の多方面からの進行予測と可視化」の一環として、「二酸化炭素の多方向拡散過程によるコンクリートの中酸化進行過程の可視化（その 12）—逆ステップ応答解析（その 2；混合セメントコンクリートの有効拡散係数の及ぼす影響）—」のタイトルで、無事対面方式での研究発表を終えることができました。また、若い研究者の、新しい息吹を感じる、興味深い研究発表にも触れることができました。

また、12 月初旬、マテリアルライフ学会の第 7 回マイクロプラスチック・シンポジウムに、オンライン方式で参加しました。海洋・陸地・大気中で観測され、生態系に深刻な影響を与えるとされるマイクロプラスチックの動向とその有効な対応策の模索について知ることができました。

また、振り返りますと、昔国際会議等を通じて訪れた、世界各国（フィンランド、スウェーデン、オーストラリア、カナダ、フランス、スペイン、ドイツ、アメリカ、シンガポール、中国、インドなど）の素晴らしい風景や美しい街並みや庭園の映像が、Facebook を通じて提供され、楽しむこともできました。また、Youtube を通じて、いろいろな音楽を楽しみました。フランスおよび日本のシャンソン（パリの空の下で、夜明けの歌、愛の讃歌など）、日本の懐かしの歌謡曲（青い山脈、時計台の鐘、ニコライ

の鐘、長崎の鐘、希望、ジュピター、北ウィング、北空港、北の旅人、熱い心に、二人の銀座、喝采、乾杯、いい日旅立ち、川は呼んでいる、川の流れのように、異邦人、銀色の道、サライなど）や日本の唱歌・童謡（からたちの花、冬の星座、富士山、アルプス一万尺など）、旧制高等学校寮歌（ああ玉杯に花受けて、散りにし花は幻か、紅もゆる丘の花、北の都に秋たけて、椿花咲く、都ぞ弥生の黒紫に、伊吹おろしなど）、東日本大地震からの復興支援ソング（スタンド・アロン、花は咲くなど）や、クラシック音楽（アラフェンス協奏曲、G線上のアリア、美しき青きドナウ、ドナウ川の漣、乙女の祈り、トルコ行進曲、田園、新世界「家路」など、世界のヒットメロディ（真珠取り、夜空のトランペット、コーヒールンバ、南国の夜、虹の彼方に、コンドルは飛んでゆくなど）を愉しむことができました。ピアノ、ギター、バイオリン、エレクトロン、ウクレレ、オカリナ、ハーブ、ハーモニカ、アコーディオン、二胡、ケーナ、バイオリン、トランペット、フルートなど、多様な楽器による音楽も、楽しませて頂きました。Facebookのソーシャルネットワーク（SNS）で、いろいろな人、サークル、同好会、イベントとつながり、いろいろな情報授受・交換を持つことができました。ありがとうございました。

温冷繰り返しと乾湿繰り返し試験を受けているのかと思われた、12月初旬の温・湿度変動の12月初旬と打って変わり、またまた訪れた、日本海側を中心とする年末の大寒波と雪害が、未だに収まらないままに、今年も終わりを迎えようとしています。世界の戦乱・内乱や、天変地異の爪痕は、収まっていません。未解決なことが余りにも多いのは、気になるところです。ですが、花鳥風月および星・虹を愛でることで、いろいろな意味で癒やしになり、ほのぼのした気持ちにもなるようです。改めて、静かな良い年末と夢と希望と光の見える正月を迎えられることを期待したいものです。今年の皆様のご厚情に感謝したいと思います。皆様、良いお年をお迎え下さい。

令和6年12月30日 乙戸南にて 福島敏夫

